

精神保健福祉に関する制度とサービス

問題 61 精神医療審査会に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 決定に不服がある場合、上級審査機関に審査請求することができる。
- 2 精神医療審査会運営マニュアルによると、取り扱った審査の資料及び議事内容の記録については、少なくとも5年間は保存するものとされている。
- 3 退院等の請求を受けて、精神科病院の管理者に対し、退院や処遇改善を命じることができる。
- 4 退院等の請求では、やむを得ない事情がある場合を除き、請求受理からおおむね1か月以内に、審査結果を通知するものとされている。
- 5 退院等の請求では、同一内容の請求が頻回にある場合、すべて意見聴取を行うこととされている。

問題 62 次の記述のうち、障害者の定義に関する法律上の規定として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 発達障害者支援法では、発達障害者を「発達障害を有するために日常生活又は社会生活に制限を受ける者」と規定している。
- 2 「障害者差別解消法」では、障害者を「障害及び社会的障壁により長期にわたって、日常生活又は社会生活に制限を受ける状態にあるもの」と規定している。
- 3 「障害者総合支援法」では、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法及び「精神保健福祉法」の各個別の法律で定義されている障害者と規定している。
- 4 「精神保健福祉法」では、精神障害者を「統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害を有する者」と規定している。
- 5 「障害者雇用促進法」では、障害者を「身体障害又は知的障害があるため、職業生活に相当な制限を受け、又は職業生活を営むことが著しく困難な者」と規定している。

(注) 1 「障害者差別解消法」とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のことである。

2 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

3 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。

4 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

問題 63 健康保険に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 業務上の事由により精神疾患に罹患^{りかん}した場合、精神科病院で健康保険による診療を受けることができる。
- 2 健康保険に加入している精神障害者が精神科病院に入院した場合、食事代は保険適用されず、実費負担となる。
- 3 健康保険に加入している精神障害者の疾患が長期化した場合、1年半を経過すれば、障害給付等を受けることができる。
- 4 健康保険に加入している精神障害者は、医師の指示に基づいて看護師から訪問看護を受けた場合、保険給付がなされる。
- 5 健康保険に加入している精神障害者が死亡した場合、金額にかかわらず、埋葬に要した費用の実費額が埋葬料として支給される。

問題 64 事例を読んで、E精神保健福祉士がFさんに説明した介護保険制度の利用に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Fさん(65歳、男性)は、10年間、統合失調症の治療のため、精神科病院に入院している。この度、主治医から病状も安定しており、退院の準備をすすめてほしいとE精神保健福祉士へ依頼があった。Fさん自身は、「できれば地域で自由に暮らしたい」とその意向を述べている。E精神保健福祉士は、Fさんの地域での暮らしを支えるために、具体的に介護保険制度の利用の検討を始めた。

- 1 介護保険制度に相当するものがないサービスについては、「障害者総合支援法」の障害福祉サービスも利用できることを説明した。
- 2 精神科病院に入院中のため、住所地特例の対象となることを説明した。
- 3 介護保険サービスの利用は、住所地の事業所に限定されるため、事業所の多い市町村への転入を検討した方がよいと説明した。
- 4 居宅サービス計画作成を指定居宅介護支援事業所に依頼した場合、その費用の1割を負担することになると説明した。
- 5 精神科病院入院中に、要介護認定の申請を行うことはできないため、退院日に申請しましょうと説明した。

問題 65 保護観察官に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 保護観察対象者から、収入・支出の状況等生活の実態を示す事実を聞き取る。
- 2 非行のある少年を除く犯罪をした者の更生保護を行う。
- 3 法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員である。
- 4 更生保護施設に配置され、保護観察対象者の社会復帰のための指導・援助を行う。
- 5 公共職業安定所(ハローワーク)の職業指導官と就労支援チームを組む。

問題 66 更生保護施設と自立準備ホームに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 全国の更生保護施設の設置状況(平成22年10月1日時点)をみると、女子施設、男子施設がほぼ同じ割合で整備されている。
- 2 更生保護施設とは、引受人がないなどの理由で適切な居住地が見つからず、生活の場が確保できない人を保護するための施設で、厚生労働大臣が認可する。
- 3 自立準備ホームとは、あらかじめ保護観察所に登録されたNPO法人、社会福祉法人などが、それぞれの特長をいかして、自立を促す施設である。
- 4 民間の更生保護施設は宿泊施設の位置づけであり、社会生活技能訓練(SST)や酒害・薬害教育等の効果的な補導援護処遇は、精神科病院が担う。
- 5 宿泊保護対象者は、更生保護施設、自立準備ホームのいずれか1つを選択することができる。

問題 67 「医療観察法」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 対象行為は、殺人、強盗、放火、強姦^{ごうかん}、強制わいせつの5つである。
- 2 対象者は、起訴され判決が確定した者を除き、心神喪失で不起訴となった者である。
- 3 目的は、対象者の医療及び保護である。
- 4 通院医療では、精神保健参与員による精神保健観察が実施される。
- 5 地域処遇の実施期間中でも、「精神保健福祉法」の措置入院になる場合がある。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

問題 68 社会復帰調整官に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護観察所には、社会復帰調整官を配置することが望ましいとされている。
- 2 当初審判では、生活環境の調査を基に対象者の処遇を決定する。
- 3 入院中から退院後の円滑な地域移行を目指し、生活環境の調整を行う。
- 4 資格要件は、対人援助にかかわる国家資格を有し、かつ3年以上の業務経験のある者と規定されている。
- 5 審判において、精神保健福祉の観点から必要な意見を述べる。

問題 69 政令指定都市のP市精神保健福祉課では、障害者福祉計画の策定に伴い、精神障害者のニーズ調査と市民を対象とした精神保健福祉に関する意識調査を実施することになった。P市では、このような調査は初めてであった。ニーズ調査については、精神障害者の実態を把握することができるように精神障害者保健福祉手帳所持者を対象とすることになり、抽出した対象者にアンケート用紙を送付することにした。

次のうち、今回実施することとなった調査方法として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 縦断調査
- 2 自計式調査
- 3 悉皆調査
しっかい
- 4 集合調査
- 5 訪問面接調査

(精神保健福祉に関する制度とサービス・事例問題)

次の事例を読んで、問題 70 から問題 72 までについて答えなさい。

〔事例〕

市役所の保健福祉課総合相談窓口の G 精神保健福祉士のもとに、H 民生委員から相談が入った。相談は、担当地域に暮らす J さん(66 歳, 男性)とその妻 K さん(65 歳, 女性)のことであった。ここ数か月 K さんの姿を見かけなくなり、そのことを J さんに尋ねても、「実家に帰っている」としか答えてもらえない。しかし、近所の人たちからは、K さんの叫び声や J さんの激しく叱責する声しっせきが聞こえるとの話であった。虐待のおそれがあるものの、どう対処してよいのか分からず相談に来たというのである。G 精神保健福祉士は、H 民生委員の話から虐待のおそれのある事案としてとらえ、J さん K さん夫婦への接触を試みることにした。(問題 70)

翌日、G 精神保健福祉士と H 民生委員が J さん宅を訪問したところ、J さんは「どうして来たのか」といった感じで話したがらなかったが、少しずつ語りだした。J さんの話によると、K さんは家事と翻訳の仕事をしながら自宅で過ごしていたが、2 年余り前から、K さんが何度も同じことを言うなど様子がおかしくなってきた。そして、家事を満足にできなくなってきたため、総合病院を受診した。その結果、K さんは若年性アルツハイマー型認知症と診断されたという。しかし、J さんも K さんもその診断結果を受け入れられず、以来、受診はやめたとのことであった。(問題 71)

J さん K さん夫婦は、一戸建て住宅に住み年金暮らしである。近くに親戚しんせきはおらず、一人息子(32 歳)は結婚して現在県外で暮らしているため、ほとんど行き来がない。K さんは、認知症の症状が進んでいるようだが、玄関先から見えた自宅の中は、かなり散らかっていた。K さんに面会したところ、奥の部屋で横になった状態で髪の毛はボサボサで何日も入浴していない様子で、痩せこけており、H 民生委員は以前の様子との違いに驚いていた。この後、G 精神保健福祉士は必要な対応を行った。(問題 72)

問題 70 次の記述のうち、この時点でのG精神保健福祉士の対応として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 H民生委員に対し、Jさん、Kさんの同意がなければ、民生委員法の秘密保持義務に違反すると指導した。
- 2 H民生委員の相談は、民生委員法の秘密保持義務に抵触しないと伝えた。
- 3 H民生委員からの相談を基に、住民基本台帳からJさん世帯の状況を確認した。
- 4 Jさん、Kさんの同意なしに、勝手に世帯状況等の個人情報を調べたり、H民生委員へ提供することは、「個人情報保護法」に抵触すると伝えた。
- 5 Jさん、Kさんの個人情報をH民生委員へ提供することは、精神保健福祉士法の秘密保持義務に違反すると伝えた。

(注) 「個人情報保護法」とは、「個人情報の保護に関する法律」のことである。

問題 71 次のうち、この時点でG精神保健福祉士が、JさんKさん夫婦を結びつける機関として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害者虐待防止センター
- 2 発達障害者支援センター
- 3 地域活動支援センター
- 4 地域生活定着支援センター
- 5 地域包括支援センター

問題 72 次の記述のうち、**G**精神保健福祉士の行った対応として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 虐待事例に相当することをJさんに自覚させ、Jさんの同意を得た上で、Kさんを特別養護老人ホームへ入所措置することとした。
- 2 Jさんの同意を得ることができないため、現状のままKさんを見守るほかないと判断した。
- 3 Kさんが虐待を受けている可能性がある判断し、直ちに立入調査を行うため、警察に援助要請を行うこととした。
- 4 KさんをJさんと分離し、虐待から保護する目的のため、認知症治療病棟のある精神科病院へ入院させることとした。
- 5 Kさんが虐待を受けているおそれがあると考え、高齢者虐待対応協力者とも連携することとした。